

# 保育園をたずねて

茨會根

## 爆笑「おゆうぎ会」

毎日続いていた雨も上がり、13日はひさしぶりの快晴。朝早くから、お母さん、おばちゃん付き人をしたがえて主役たちが登園です。会場は期待どおり？ 笑いの連続です。親の願いもむなしのカカン組、音楽なんかおかまいなしのマイペース。舞台から「お母ちゃん」の声飛び出す一幕も——。それでも、我が子の晴れ舞台に目を細めるお母さんたちでした。



経営は稲作と果樹からなり、父は果樹、私が稲作を担当している。農家の長男として生まれ、なんとなく農業の道を進んだ。小さい時から、両親の働く姿を見

てきたことと、長男で家を継ぐということが頭にあったせいかな大人になったら両親のまねをすれば、なんとかなるといふ中途半端な気持ちでいた。こんな気持ちが変わったのは



田中克幸さん  
(犬掃新田・21歳)

オレの百姓道

# 稲作のまねどり

高校在学中と卒業してからの浅い経験からだ。卒業後、長男ということばにしばられ、自信がないまま農業に取り組んだ。初めは、まわりの人から聞いた話などで作業を進め、とても自分の考えだけでは仕事に取り組めなかった。そして、三年目を迎え、自分なりに稲作に取り組んでみて感じたことは、以前は農業とは「働くのみ」という考えしかなかった。しかし現在では、農業に永年従事している人たちの意見や友人との対話から、自分には何かを吸収し、農業という道を直進したいと思っている。

## 市役所関係の年末年始の休み

- ごみ・し尿収集 12月30日～1月3日  
ただし、ごみの持ち込みの場合は、30日の午後4時まで受け付けます  
<粗大ごみの収集> 今月の鉄・カン類の収集日に行います
- 火葬場 1月1日
- 市役所 12月29日～1月3日。市民・税務の各種証明業務は29・30日午後5時までと31日は正午まで行います
- 厚生会館 12月28日～1月3日
- 図書館 12月28日～1月4日
- 教育センター 12月28日～1月5日
- 白寿荘 12月29日～1月5日

県の最低賃金が改正  
11月4日から次のように改正されました。  
■最低賃金額 1日=2,247円  
1時間=281円(精皆勤・通勤)  
■家族手当は除外)

### 今月の停電

▶9日=午前9時～午後1時  
戸頭国道沿いの一部

### 小包・年賀状は早目に

12月は郵便物が、1年中でもっとも混む時期です。  
小包はおそくとも15日、年賀状は20日までに送すように心がけて。

### 市長杯、市民将棋大会

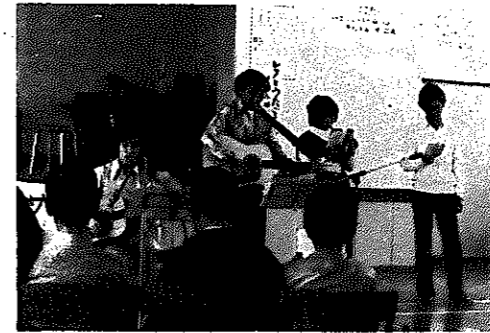
小・中学生 初心者大歓迎  
■とき 1月8日午前9時30分から  
■参加料 無料  
■ところ 厚生会館  
■申し込み 当日会場で

■今月の納税 ▶固定資産税(4期) ▶都市計画税(4期) ▶保険税(4期) 納期限は、12月31日です。

# グループ

## 歌声のあるまちに 歌声サークル「たんぼぼ」

毎週月曜日夜七時半、教育センターで、たんぼぼの明るい歌声が聞かれます。七年前に発足——そのころは若者の交流の場といえば、青年団と青年学級くらいしかなく、こういった「娯乐的なサークルもあっていいじゃないか」と、数人が集まってつくったもの。発足当初は、三十人ぐらいて「市民合唱団」のようなものをつくりたかったそう。



活動は、友好を深めるためにキャンプを毎年行っていることと、コンサートの開催です。山田 強会長は「これからは家庭の主婦にも入会してもらいたい」と、台所から歌声が聞こえてくるような、そんなまわをつくらせてみたい」と、大きな希望を話してくれました。「楽器がなくても、うまなく歌えなくてもいい——。とにかく、楽しくやってみよう」と、仲間は「ほしーんです」と、入会を呼びかけています。希望者は会場へ。

【会員の声】



丸山敏樹さん

サークルの人たちと、スキーに行ったのがきっかけで入会しました。もともと歌が好きだったので……。  
みんな良い人です。今は練習日待ち遠しいくらいです。

## 市民文芸

△川柳▽ 白根川柳文芸会  
へら付けに姑から鯨尺の知恵を借り 中村尚治  
誕生日中年らしい膳があり 大井義雄  
クラクション一つが地獄の一丁目 後藤まさの

## 私も一言

灯火親しむ季節 「神社にせと物屋が来たわヨ」と友の声。  
私が神社の、せと物市に出かけるようになって  
何年たったであろう。高三の息子が小学生のころからだ。戸棚には茶わん類はたくさんあるが、なんとなく出かけるようになった。最初のうちは重くて、子どもを荷物運びのつもりで連れて行った。人はきつと「さして安くない、いびつや、はんば物をこんなに買って」と思うかも知れない。ほんとうにそのとおりである。

## せと物市の思い出

分——その間、私にはなにものにもかえられない気持ちになるのが不思議であった。すっかりせと物屋とも顔なじみになり「またお会いしましたね元気ですか」と、どこのどなたか知らないせと物屋に、いいようのない親しみを感じる。  
息子が成人し、お嫁さんをもらったら、いつか茶わんを求めるときも……。  
その時「かあちゃんとうす暗い裸電球の下でいびつな茶わんを買ったなあ」と、思い出す日もあるかも知れない。  
こんなことを考えながら息子と二人で、いびつな茶わんをさわりながら、心の安らぎを感じる私である。  
これも来年はたぶん、息子とせと物市に行かれないと思ってるからであろうか。(一主婦)

一寸した風邪馬鹿にして十日寝る 吉川 彰  
親に似ぬ子どもは親に似ながら 保科盛広  
ほどほどにする夜遊びでむしろ 米野光雄  
△俳句▽  
晩秋の亡き母想う後影 東町 渡辺 勲

## 民族資料室へどうぞ

民族資料展示室では、ただいま、昔の暖房器具などを展示し、皆さんのおい出をお待ちしています。お気軽に見学ください。  
【開館時間】 午前9時～午後4時(土曜日は正午まで)  
【休館日】 日曜日、祝日、12月28日～1月4日  
【入館料】 無料

## 郷土玩具

### 鯛車、づくりの講習会

■とき 12月15日 午後1時～4時 ■ところ 中央公民館  
■経費 材料費 400円 ■持ってくる物 キリ、はさみ、ナイフ ■申し込み 12月12日までに同館(☎3171)へ

■市長とハガキで話そう 皆さんの世帯に配布してあるハガキは、12月31日まで使います。